

第3学年 国語科 学習指導案

- 1 題材名 お気に入りの俳句鑑賞会を開こう
- 2 目標
 - 俳句の表現の仕方について、自分の考えをもちながら読もうとする。(国語への関心・意欲・態度)
 - 俳句を読み比べ、作者の意図と表現の仕方とのかかわりを考え、それに対する自分の考えをもつことができる。(読む能力)
 - 表現の工夫に注意して俳句を読み、俳句の世界に親しむことができる。(言語に関する知識・理解・技能)
- 3 指導上の立場
 - 生徒の実態

削除しています。

- 題材観

本題材では、三つの俳句を中心教材とし、補助資料としてさらに複数の俳句を準備し、単元の指導計画を構成した。

第1・2時で提示する俳句三句のうち、一句は同世代の生徒作品を、他の句は俳人高野素十、水原秋桜子の作品（鷹羽狩行の解説も引用）を題材として選んだ。生徒の作品は、同世代の生徒が創作した作品で、学習する生徒達が生活体験を共有しやすく、描かれた世界を想像しやすいものである。そして高野素十、水原秋桜子の作品は、切れ字によって作者の感動の中心が明確にされた名句である。いずれも生活体験を想起しながら表現を手がかりに読み深め、鑑賞することができる作品である。俳人によって書かれた解説文を提示することにより、鑑賞のポイントをつかむことができると考えた。

第3時以降は、それまでの学習を生かし、お気に入りの俳句の鑑賞文を書き、俳句鑑賞会を開くという流れを作った。

本題材では、俳句を読んで批評する言語活動を取り入れた。ここでいう批評とは、そのもののよさや特性、価値などについて、論じたり、評価したりすることである。俳句を読んで評価し、鑑賞文を書く活動を通して、語句や描写について、その意味や効果を評価しながら読む能力を身に付けさせたい。
 - 指導上で工夫する点や手立て

まず、俳句の一部を空欄にし、作者の選んだ言葉を予想させる活動を取り入れた。そして、それぞれが考えた言葉を、理由や根拠を明確にして考えを交流させることとした。それにより俳句に描かれた世界が想像しやすくなり、作者の表現の工夫や選び抜かれた言葉の力に気付くことにつながると考えた。次に、作者の選んだ言葉を知った上で、改めてその俳句を鑑賞することで、俳人の言語感覚の鋭敏さに触れ、その語でなければならなかった理由を考えることができるようにした。

最後に、俳人によって書かれた解説文を紹介することで、鑑賞のポイントをつかむことができるようにした。
 - 研究主題との関連

研究主題は「学力向上を目指した授業改革」である。読むことの学習においては、内容理解・解釈中心の授業の改善に取り組んでいる。今回は、自分の読みと他者の読みを比較したり、参考にしたりしながら、俳句の鑑賞のポイントに気付かせることを重視した。俳句鑑賞会を開くという目的意識を明確にして鑑賞文を書くことにより、学習への意欲も高まると考えた。
- 4 指導計画（4時間）

第1時	俳句の約束事や特徴を知り、作品の世界を読み味わう。……………	1時間
第2時	俳句の鑑賞のポイントをつかみ、鑑賞文を書く。(本時)……………	1時間
第3時	お気に入りの俳句を選び、鑑賞文を書く。……………	1時間
第4時	俳句鑑賞会を開く。……………	1時間

5 本時案

本 時 案			
	本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> 俳句の表現の仕方について、自分の考えをもちながら読もうとする。 (国語への関心・意欲・態度) 俳句を読み比べ、作者の表現の意図と表現の仕方とのかかわりをとらえ、それに対する自分の考えをもつことができる。 (読む能力) 	
過程	学習活動	教師の支援・配慮事項	評価
ふれる・つかむ	1 前時に学習した俳句の世界を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の学習を想起させることにより、本時の学習への導入の支援となるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既習の二句の俳句の特徴や読みとった内容を発表させる。 	
	2 本時の目標をつかむ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 作者になりきって俳句を読み味わおう。 「 啄木鳥や 落ち葉を 牧の木々 」 </div>	
求める	3 俳句の空欄部に当てはまる語句を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ことにより、描かれている風景を思い描きやすくする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目に見える物、聞こえる物、回りの様子などについて、具体的に表現できるように発問する。 	作者の表現の仕方について、自分の考えを進んで発表したり、書いていたりしている。 (ワークシート記入・発表) 【関心・意欲・態度】
	4 作者が用いた表現(語句)を知り、そのよさを味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの表現(語句)と、作者の表現(語句)の違いを発見することにより、その表現(語句)に込められた思いを考えることができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な感覚が活かされていることを示す。 	
	5 解説文を参考にして、鑑賞文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 著名な俳人の書いた解説文を示すことにより、鑑賞文をまとめる際の手がかりとなるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 読み味わった内容を織り交ぜて自由に表現するように伝えることで、消極的な生徒が取り組みやすくなるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作者の表現の工夫をとらえ、それに対する自分の考えを鑑賞文としてまとめている。 (ワークシート記入・発表)
まとめる・広げる	6 本時のまとめと、次時の学習内容の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容を振り返り、次時の学習活動への意欲付けとなるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自他の鑑賞文を伝え合うことで、本時のまとめとする。 ・ 補助資料から自分の気に入った俳句を選び、俳句の鑑賞会を開くことを知らせる。 	【読む能力】

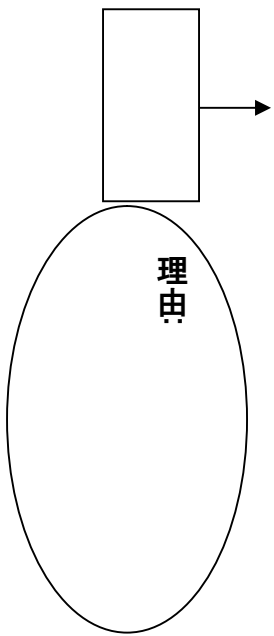
お気に入りの俳句鑑賞会を開こう

() () 組 () () 番 氏名 ()

今日の学習

■ 俳句の世界を読み味わおう！

みずはら しゅうおうし
水原 秋桜子



☆ 作者の目の前の世界は？(自由にメモしよう！言葉でもイラストでもOK)

《みんなの良〜ところメモ》

《作者のす〜ところメモ》

